

# 慶應産業精神保健カンファレンス

「KEAP の効果をより多くの人たちに届けるために」

日時

2014年11月6日(木)

19:00～21:00

定員  
70名

19:00～19:10 製品説明 ジェイゾロフト

19:10～19:30 講演①

19:30～20:15 講演②

20:15～21:00 パネルディスカッション



場所

信濃町煉瓦館 4階 ストレス研究センター

東京都新宿区信濃町35 Tel. 03-3353-1211

司会

慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室

佐渡 充洋 先生

開会の辞

慶應義塾大学医学部 ストレス研究センター

教授 加藤 元一郎 先生

講演①

ソニー株式会社人事部門ES推進課

統括課長 野本 清志 先生

「産業医と精神科医との連携」(仮)

講演②

慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

特任准教授 白波瀬 丈一郎 先生

「KEAP today-そのはじまりから、MOCK&RHPまで-」

パネルディスカッション

パネリスト : 野本 清志 先生

白波瀬 丈一郎 先生

佐渡 充洋 先生

閉会の辞

慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室

教授 三村 将 先生

\*産業医の先生、企業の診療所に勤務されている先生などご興味のある方であればなたでもご参加頂けます。  
\*事前にお申し込みが必要ですので、[naoko.watanabe@pfizer.com](mailto:naoko.watanabe@pfizer.com)までご連絡をお願いいたします。

主催 : ファイザー株式会社

# カンファレンス趣旨

KEAP(Keio Employee Assistance Program)は、「働くことに伴うストレスを、健康と成長のための糧とできる世界の実現」をビジョンとして掲げ、2009年からその取り組みを開始しました。

それから5年間、職場復帰を目指すメンタルヘルス不調者に加え、職場管理監督者、人事担当者、産業医、産業保健スタッフとの協働を通して、KEAPは確かな実績をあげると共にプログラムの精緻化を進めてきました。と同時に、さらなる課題への認識も深めてきました。

その最たる課題は、職場復帰を目指す不調者が年間100名程度発生しないと採算が取れないということに基づいています。KEAPは確実に効果を出すプログラムですが、その効果は、KEAPを導入可能な極めて大規模な企業に所属する不調者にしか提供できないという限界があります。これでは、ストレスを健康と成長のための糧とできる世界の実現はかないません。ビジョンの達成には、より多くの不調者にKEAPの効果を届けられる仕組みが必要です。

この課題に対する解決策としては、私たちはKEAPのエッセンスを抽出したMOCK(Modified Core KEAP)と、リワークプログラムRHP(Return to Health Program)の開発に着手しました。RHPは、経済産業省の「平成26年健康寿命延伸産業創出推進事業」に採択され、事業化に向けての取り組みを行っています。

今回の慶應産業精神保健カンファレンスでは、「KEAPの効果をより多くの人たちに届けるために」をメインテーマとして、講演①では、ソニー株式会社の産業医でいらっしゃる野本清志先生に、産業医の先生方にKEAPのエッセンスを取り入れていただくという点も踏まえて、産業医と精神科医の連携についてお話しいたします。講演②では、白波瀬がKEAP開発からMOCK & RHPまでの流れを概観し、KEAPのエッセンスを明らかにします。そして、パネルディスカッションでは、参加いただく皆様と共に、メインテーマについての議論を進めていきたいと考えています。

入口は  
円形の  
ガラス張り  
になっています。  
4階です。

